


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

操作性に困難さがある児童が、「合わせる」の学習をするための方法 「パワーポイントを用いた『合わせる』の学習」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・小学部3年
	障がい名等	肢体不自由 知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・画面に注目することができる。 ・追視することができる。 ・不随運動があり、物を思い通りに操作することが困難である。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	算数科 ☆ 「あわせましょう①」
	単元(題材)名	
	単元(題材)の概要	・切り離れた絵のそれぞれの絵カードから情報を読み取り、読み取った情報を基に、1枚の絵を完成させる学習。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>タブレット端末</p>   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【使い方】 タブレット端末に、スライドを映して提示する。 画面をタッチすると、2枚の画像が次第に中央に寄っていき、その様子を見せる。</p> </div>
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉 ○「合う」様子に目を向けることができるか。</p> <p>〈工夫点〉 ・操作がないため見ることに集中することができる。 ・また、画像が会った際に「ピタッ。」や「合ったね。」の言葉を添え、見たものと言葉が一致するようにした。</p>
	材料・作成方法等	タブレット端末
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末に映して見せることで、画面に映る「合う」様子に注目することができた。 ・画像は、本児が好きなキャラクターや好きな車を用いた。2枚の画像が合い、1枚の絵が完成すると、目を見開いたり、発声が見られたりした。